

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 多聞
日付	平成19年3月31日
特定非営利活動法人	ライフサポート
評価機関名	
評価調査員	在宅介護経験15年
評価調査員	ケアセンター介護支援専門員経験5年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
<p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>人間が人間らしく精神活動や生活行動していくために、生きる機能、人間らしく生きる機能、自分らしく生きる機能、の3つの角度から見ていく必要があると考えている。この考えに、グループホームのケアやサービス提供を当てはめていくと、毎日の利用者の健康を維持していく為の健康管理やリハビリに病院に行ったり、散歩や外出、ドライブしたり、ボール遊びを皆でする。塗り絵や編み物などして身体機能や精神状態の維持をしていることが生きる機能であろう。そして、人間らしく生きる機能としては、満足感を感じながら楽しく食事が出来ることにあるだろう。食材を買いに行く、食事を作る、盛り付けや配膳をして見て楽しむ、皆で食卓を囲み楽しく食べる、食べた後を片付けるという一連のことを利用者全員で出来ることにある。ホームの利用者は、よく食べるのは何処のホームも同じ。一人で食べるご飯は美味しくないが、ホームで皆で食べる食事は美味しく食べられる。これが人間として一番必要な事である。最後に自分らしく生きる機能が、このホームの特徴である。一人ひとりが、自分の時間を自由に使って生活している事である。</p> <p>自分の意志でリハビリに通い、午前と午後の時間に別の場所で交流をしながら自分の衰えを防ぎ、好きなことをすることに備えている。写真を撮る事に生き甲斐を持つ人の写真一枚を見せてもらった。池田動物園に行った時、驢馬に人参をやるため、利用者が自分の歯で人参を小さく刻んでいるのを驢馬が見つめながら待っているという微笑ましい写真だった。</p> <p>物語などからそれを絵に描いてみたり、書にしてみたりして作品作りに励んでいる人もいる。ホームの中でその作品を活用したり、リビングルームや居室を飾っている。</p> <p>その他にも、切り絵をしたり、編み物をしたりして、それぞれの個性を生かしている人が多い。読書をしたり、自分のしてきた人生の足跡を大切にしている人もいる。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>次のような提案をした</p> <p>利用者の言動の記録等、素晴らしいホームでの生活記録が綴られている。これらがケアに役立ことは勿論であるが、利用者の日々取り組んでいる作品と共に、ホームで生活した素晴らしい証として、一人ひとりの人生歴として残してあげて欲しい。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>冒頭の講評にも記したことは、このホームの理念にも直接つながっている。「その人に合った自然な形で暮らして欲しい」。毎日笑顔で過ごしてもらいたい。比較的軽度の人が多いので、出来ることは手伝ってもらって、現在の状態を維持してもらいたい。そして、それぞれの利用者が、好きなように自分の時間を過ごして欲しい」と管理者は言う。</p> <p>ホームの利用者を見ると、それぞれにしたい事を気の向くままにマイペースで過ごしており、集団で何かをするという規制は全く感じない。明るさと笑顔を目指し、これからも利用者や職員が共同して現在の生活を維持して欲しい。</p> <p>現在は、コミュニケーションを言葉で会話できる人が多い。しかし、現在でも自分の気持ちや心の中を語りきれていない人も思う。職員の時間がある限り、1日に10分でも15分でも良いので、しっかり話しをさせることも続けていてもらいたい。</p>		
生活空間づくり			
番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>各居室にはトイレがあり、フロア全体が床暖房で快適である。洗面所は3ヶ所にあり、使い勝手も良い。リビングルームや居室は厨房からよく見渡せて、職員の目が届きやすい。</p> <p>リビングルームは、行事の写真や利用者の絵、書、写真、切り絵、塗り絵等の作品が貼ってあり、日常の利用者の生活や活動の様子がよく分かる。利用者は自分の思うままに、ホームの室内を利用している。</p> <p>屋外のスペースはないので、病院にリハビリに、買物に、診療にと歩いて毎日通う人も多くいる。散歩もよくする。ドライブに行き、屋外との生活をしている。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>「どんなか味見して？」サラダの味付けをしている人が私の手のひらに少し乗せてくれ味見を促してくれる。「やっぱり酢を少し」と言われて「これくらい？もうええ？ストップ言うてよ」職員が酢を足していく。みりんも入れる。「うん、まあいいか！」と出来たサラダを小鉢に盛り分ける。</p> <p>献立は、ユニット別々に作られるが、好き嫌いの食べ物を配慮して、焼き魚が嫌いな人には肉料理に変えてあげる。これは利用者にとって嬉しい。</p> <p>箸やご飯茶碗、湯飲みは自分の物になっており、利用者それぞれ全部違っている。食事が済むと、自分で出来る人は下膳して食器を洗っている。利用者同士で善意で手伝っている人もいる。</p> <p>皆で生活している面と自分の好きな時間を過ごしている面を、きっちり区分して生活の出来ているホームであり、自分らしい暮らしが活かされている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>ホームのサービス評価として、改善を要する事項を色々な面で数多く自己評価しており、現状を正しく分析できている。これらを総花的でなく、確実に実行していける具体的な目標や改善項目を明確にして、一つひとつ確実に改善して行ってほしい。</p> <p>家族もよく訪問してくれる人も多く、家族の協力なしでは利用者のケアは難しいという自覚も持っており、今後家族ともコミュニケーションを計っていく。</p> <p>地域との交流も運営推進会議をきっかけとして、地域の色々な行事に参加したり、学校や保育園との交流も積極的に行っていき考えである。又ホーム側も近所の人々との付き合いをカレーパーティーに招待して積極的に取り組んで行こうという意気込みを感じる。</p>		